



みのり

発行所 金光教寝屋川教会

〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11

TEL 072-829-5129

メール koichiyasui@yahoo.co.jp



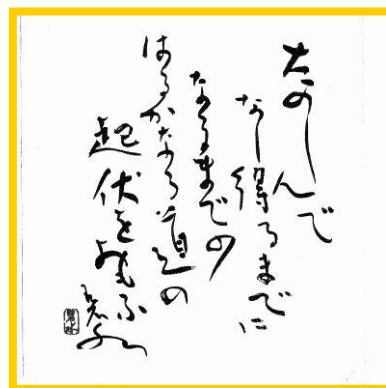
新緑の映える季節となりました。教会前庭の花も彩りよく咲きほこっています。陽の光や折々の雨が、植物の成長を大いに促していることだと、庭や公園などを掃除していて実感できます。「百聞は一見に如かず」と言いますが、何事も実際にやってみるとよくわかります。

御教えに「表行よりは心行をせよ」と、形の行をするよりも、心の持ち方を大切にしていけることを教えられています。信心とは、「世話になるすべてに礼をいう心」を土台とする稽古であり、そういう在り方を辛抱強くこと続けるにより、身代（財）と人間（信用）と達者（心身の健康）の上におかげを受けていくことができると、このように私は理解しています。

実際に家業の始めに、体が不自由なく動くことができるお礼、天地のお恵みへのお礼、そんな気持ちから始める日々の掃除ですが、公園内でペットボトル、空き缶、お菓子の包み紙、空き袋、等々のゴミを拾いながら、モクモクとわき上がる思いは、「どうして、ゴミ箱に捨てないのだろう？」「家庭や学校では子どもにどんなしつけをしているのか？」「たばこの吸い殻

を捨てているのはどんな人？」「犬のふんは、道にほっておくな！」「だれか注意する人はいないのか？」などと、次々と不平、不満が出てきます。他方、世界では戦争の被害、地震や災害の被害を受けている人が多数おられ、公園で楽しく遊んだり、おやつを食べたり、友人と自由に話したりできる私たちの境遇を思うと、喜ばねばならない、心の土台を不平不満にしているのではないと、思い返し、思い直ししているようなことです。

金光碧水（四代金光）様はお歌に、



たのしんで なし得るまでに なるまでの
はるかなる道の 起伏をおもふ

と詠まれています。ご自身の書道や和歌創作の稽古のことを詠まれたものと思いますが、信心の道も同様で、教祖金光大神様をお手本とし、我流を離し、金光大神流の在り方に近づいていくことにより、たのしく、ありがたくおかげを受けてまいりたいとの思いも詠まれているのではないかと思います。

心身一如といいますが、まずはお礼の心から体を使ってお役に立たせて頂き、いっそうに心を整え、和らぎよろこびの心を深め、おかげを受けてまいりたく願っています。（教会長）

当教会の天地金乃神大祭奉行

好天に恵まれ、彩り豊かな花の咲き競う中、4月29日(火・祝)午前11時より教会長祭主のもとに天地金乃神大祭が美しく仕えられました。



~~~~~

## 《宣教》

講師：平野教会長

宮下寿美 師

講題『一生が修行中』



現在、関西万博が開催され、連日にぎわっていますが、55年前の大阪万博の時は、アンパンマンが大ヒット中でした。作者のやなせたかし氏は、敗戦後の何もない中で、難儀やトラブル、いざこざなどに出合ったり、見聞きして、いろいろと気づかされ、そんな中からアンパンマン、ショクパンマン、バイキンマンなどのキャラクターが生まれてきたのだと思います。

私たちは何も持たず、何もできないままに生まれてきて、自然の恵みや肉親の慈愛を受けて育てられてきているし、周囲からの恩恵をたくさん受けることで人生が豊かになってきます。何もないから気づくことがあり、また難儀があるから気づくこともあります。気づくことがあって、改まりが生まれ、そこに豊かな人生が開けていくものだと思います。

平野教会には、10メートルを超えるほどの「おがたまの木」があります。「おきたま(招霊)」が、「おがたま」と言うようになり、神様とつながるという意味の言葉です。それは、平野教会が建築された昭和11年頃に植樹されました。先月、その木の中ほど辺りにカラスの巣がみつかりました。人通りの多い場所で、春先から卵からひながかえり、時に攻撃的になることがあります。保護鳥でもあり、業者に頼んで、撤去してもらうことにしました。そうすると、かわいそうだなとの思いがわいてきて、教祖様が近藤藤守先生に説かれた御教えを思い出しました。

「明石で鳥をおとりにして雀を捕っていました。杭を打って鳥をつなぎ、その前にえさをまいて、鳥がいるからと雀が安心して来たところを、かすみ網をかけておりました。かわいそうなことをすると思いました」という話を申しあげたら、「かわいいと思う心が、そのまま神である。それが神である」と仰せられた。

(近藤藤守の伝え17)

いわば「おがたまの木」にあるカラスの巣を撤去するということから、私の心に「かわいそうに」と思う心が生まれ、そのことで神心を頂いていることに気づき、有難く思わせて頂いたことでした。

また、おがたまの木は春先になると次々と木の葉が落ちます。朝の御祈念後、落ち葉の掃除をしているのですが、限られた時間と場所という制約があります。しかし日々続けることで、目に入るきれいな場所が広がっていき、自分の気持ちも清々しくなり、日常が生き生きと変わってきます。神様は私に新たな発見をさせようと、お働きくださっているのだと思います。

いろいろな事柄を通して、気づき、改まりして、新しい自分の道が開けていく、「一生が修行中」という意味はここにあるのかと思います。教会に参拝し、お取次を頂き、御教えを拝聴し、それを行じていく、そこに神様と一つになっていくおかげの道があるのかと思います。



## 御本部天地金乃神大祭に参拝

去る4月6日(日)13時より好天に恵まれ、桜満開のご霊地にて天地金乃神が麗しく奉仕されました。祭典前の宣教では、白神美知雄師(大阪府・堺教会長)が「祈られての今」との講題のもとに、ご自身の体験を元気よくユーモアを交えて話されました。引き続き教主金光様祭主のもとに大祭が仕えられ、祭場は多くの参拝者であふれ、和やかな雰囲気にもまれてご祭事はつつがなく執り行われました。



## 中かおりさんの宝物



安井ゆかり先生と中かおり様

令和2年8月18日に百歳で亡くなられた中かおりさんの話を紹介します。もう25年程も前から毎日教会の10時のご祈念にお参りされ、その後、12時頃までトイレの清掃を丁寧にされていました。30代で夫と死別し、その2カ月後に幼くして両親を亡くした自分の甥と姪を引き取り、寝たきりの実母の介護もしながら、甥と姪が自立するまで育てあげました。もともとは玉水教会の信者さんで信心深く、神様を頼りに辛抱強く生きてこられたのです。夏はエアコンもつけず、冬はストーブもつけずの生活だったので、猛暑の夏は熱中症で倒れられないか心配でした。

晩年になって時折、自宅を訪ねると鍵が掛かっている、生活感がありません。そこで地区の民生委員さんに尋ねると、「入院されているようです」ということでした。それを聞いてほっと安心しましたが、病状は深刻で、命の危機をさまよっておられました。病院に行くと甥御さんがおられ、夫婦で付き添ってお世話されていました。寝たきり

で、口から食物をとることができず、点滴で命をつないでおられました。私の顔を見ると、とても喜んでくれました。何も告げずに姿を消したことがずっと気になり、ひと言気持ちを告げたいと、寝たきりの状態で、ペンを握り、力をふりしぼって、書いた手紙を渡してくれました。

「先生、永い間お世話頂き、有難うございます。私こと、去年7月から入院しています。骨と皮になってしまいました。歩くことができず、時々思い出しておりますが、大変お世話になりました。感謝申し上げます。この『みのり誌』を拝見して以来、毎日気になりながら、思うようにならない私の体を悲しんでおります。感謝が第一、不足はいけないと思いながらも、ほんとうにふつつか者です。死に際までお参りさせて頂きたくてと心に誓っていたにもかかわらず、こんなになってしまいました。自分の体は自分のものですが、自分ではありません。長い間、お世話になりました。有難うございました。書きたいことはまだまだ沢山ありますが、体が思うように動かず、感謝でいっぱいでございます。何度申し上げても足りません。私の人生で、金光教は私の一生の宝物です。神様、金光様、有難うございます」と結んでられました。

中さん、有難う。あなたの気持ちは神様が受け取ってくださいます。お世話になったのは私の方です。25年余りの長きにわたり、神様から与えられた御用だからと毎日、トイレ掃除を続け、喜んで帰っていかれました。掃除が終わり、一緒に頂くおやつタイムで聞くお話が楽しみでした。自分に厳しく、毎日運動、体操を1時間もして体を鍛え、トイレはいつもピカピカにして、不思議な体験のおかげ話をして下さいました。

「他人の悪口や、不足、不満を持ったらいけない。神様からお叱りを受ける」と、他人には優しくかった。寝たきり修行は約3年間続きましたが、百歳を迎えた年に永遠の眠りにつかれました。最期まで「生きたい、死にたくない」「お参りしたい」「金光教は私の宝物」と3つの言葉を残して逝ってしまわれました。

人が老いるということは、必ずやってきます。「こんなはずではなかった。何でやろ」と自分の体の衰えに情けなくなる今日ですが、「まだやれる。こんだけできた」とできることを喜んで生きたいと思います。(安井ゆかり)



# 5月

| 日  | 曜 | 教会行事予定         | 教会長、その他                      | 日  | 曜 | 教会行事予定            | 教会長、その他               |
|----|---|----------------|------------------------------|----|---|-------------------|-----------------------|
| 1  | 木 | 月頭祈願祭<br>14時   |                              | 16 | 金 |                   |                       |
| 2  | 金 |                |                              | 17 | 土 |                   | 佐野教会大祭宣教<br>14時       |
| 3  | 土 |                | 天満教会大祭<br>13時30分             | 18 | 日 | 月例霊神祭<br>14時      |                       |
| 4  | 日 |                | 三日市教会大祭<br>宣教 14時            | 19 | 月 |                   |                       |
| 5  | 月 |                |                              | 20 | 火 |                   |                       |
| 6  | 火 |                | 鶴甲教会大祭<br>13時30分             | 21 | 水 |                   |                       |
| 7  | 水 |                |                              | 22 | 木 |                   | 難波教会大祭 14時            |
| 8  | 木 |                |                              | 23 | 金 |                   |                       |
| 9  | 金 |                |                              | 24 | 土 |                   |                       |
| 10 | 土 | 月例金光大神祭<br>14時 |                              | 25 | 日 |                   | 小阪教会大祭宣教<br>10時       |
| 11 | 日 |                | 韮教会大祭宣教 10時半<br>門田家 50日祭 14時 | 26 | 月 |                   |                       |
| 12 | 月 |                |                              | 27 | 火 |                   | だるまっこ・9時<br>民生定例会・13時 |
| 13 | 火 |                |                              | 28 | 水 | みのり編集会議<br>10時40分 |                       |
| 14 | 水 |                |                              | 29 | 木 |                   | 講師会 13時30分            |
| 15 | 木 |                |                              | 30 | 金 |                   |                       |
|    |   |                |                              | 31 | 土 |                   |                       |

## 5月のご霊神様

溝田さと乃霊 (1935年5月1日帰幽)

今美千鶴姫乃霊 (1940年5月5日帰幽)

井形金男大人乃霊 (1973年5月8日帰幽)

中岡兵市乃霊 (1975年5月13日帰幽)

西村初美乃霊 (2005年5月3日帰幽)

溝田イソ乃霊 (1973年5月7日帰幽)

前島トシコ姫乃霊 (2006年5月10日帰幽)

古川スミ姫乃霊 (1999年5月23日帰幽)

## 5月のお誕生 (敬称略)

濱野真知子、高田一輝、柴田信治、高崎瑠叶、井形章伸、安井瑛志  
松ヶ角美和、池端倫花、松木美沙、田島学実、高田はるな

みなさん、おめでとうございます



